



〈発行〉名古屋芸術大学
子どもコミュニティセンター

孫育て真っ最中

人間発達学部で教鞭を執っている酒井宏明です。5年前からこの大学にお世話になっています。ここに赴任する前は、岐阜県にある東海学院大学でお世話になっていました。また、その前は35年間愛知県の小・中学校に勤務をしていました。

特に小・中学校に勤務しているときは、子育ての真っ最中の時代でしたがほとんど家庭を顧みることなく妻に子育てを任せきりでした。自分の子どもより人の子どものお世話することにエネルギーと時間を費やしていました。愛知教育大学の附属小学校に勤務したときは、勤務を終えての帰宅も遅く朝の出勤も早いので子どもの寝顔しか見ることのできない毎日でした。年一度の研究発表会が開かれる一か月前は、通勤時間がもったいないのでとうとう学校で寝泊まりをすることもしばしばありました。それは多くの同僚たちも同じような生活をしていました。

ある日曜日、やっと家に帰ることができる時間ができたので、お昼前に家に帰ったことがありました。当時私の二人の子どもはまだ小学校にも入学していなかった頃ではなかったかと思います。疲れていたので昼ご飯を食べて一休みをしようと思っていたのですが、たまの子どたちとのふれあいもしなければと思い、一生懸命に子どもたちと遊びました。子どもたちと一緒に過ごすのは久しぶりでしたので、なんとなくぎこちないものとなっていたことを覚えています。

学校の仕事が忙しくあまり子どもたちとふれあっていない様子を見て、妻からは「子どもたちと無駄な時間を過ごさないとなつてはくれないよ」と言われていました。自分の子育てより学校の仕事、いわば人様の子育てを優先するのが当たり前の時代でした。

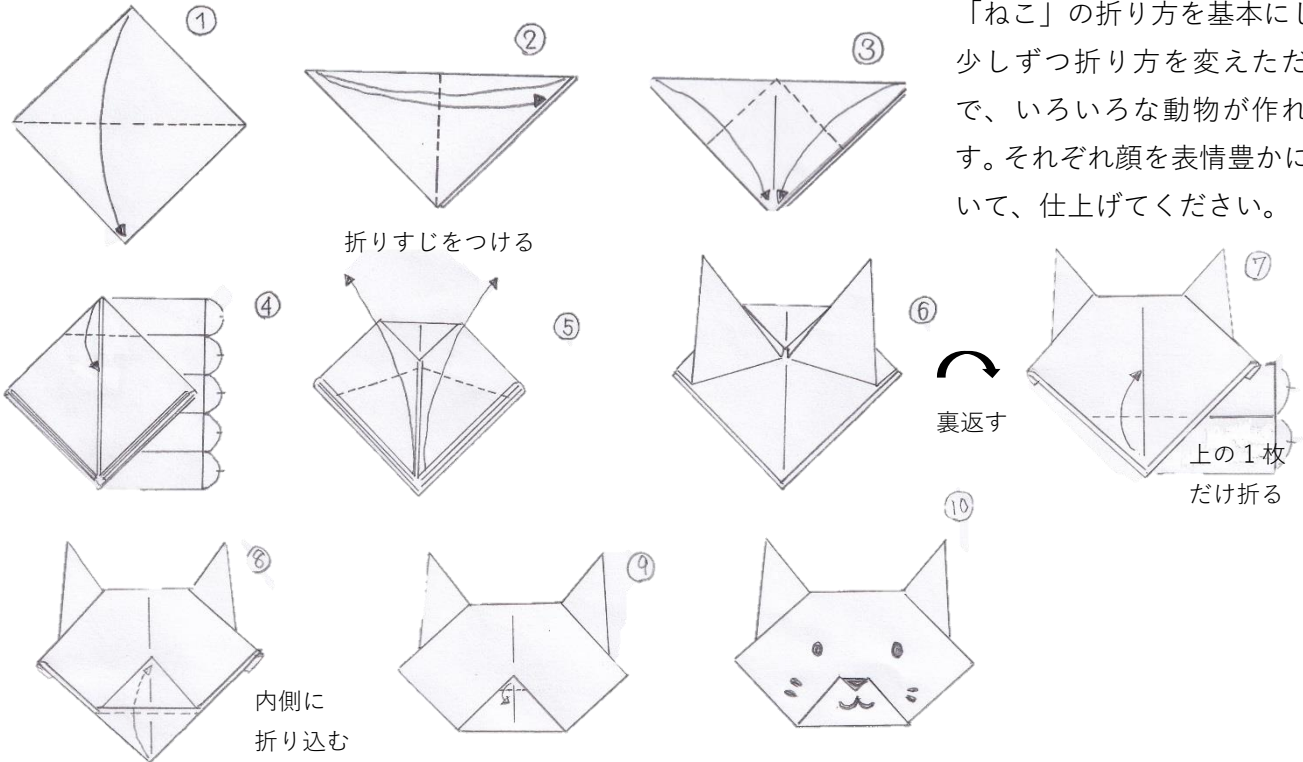
その日の夕方となり、夕食を終えていざ学校に戻るとき子どもたちは私に向かって「おじちゃんまた来てね」と言うのでした。この言葉を聞いて愕然としました。子どもたちは私を自分たちの父親ではなく、どこかのよく見かけるおじちゃんであったわけです。この言葉には考えさせられました。仕事一筋で生きてきた自分を自分の子どもたちから、いとも簡単に否定されてしまったような衝撃を受けました。学校に戻り、同僚にこの話をしたら「おじちゃんまた来てね」という別れのあいさつは、どうも私だけではなかったようでした。

父親が子育てに参加するのは子どもにとって大切だということは、誰もが常識としているところです。私もPTAの会合ではよく夫婦揃って子育てに当たりましょうと言っていたことを思い出します。しかし、自分はどうか、はなはだ心許ない限りです。それからというのは、妻のアドバイスのとおりできるだけ無駄な時間を惜しみなく子育てに使うようになりました。現在私の二人の子どもたちは、私の子育てを反面教師として、無駄な時間を子どもたちに惜しみなく注いでいるようです。長男は、時間をみつければ二人の息子にせがまれるままに好きな電車に乗せています。私も孫たちが愛知に帰るごとに明知鉄道に乗せたり、城北線や田原線に乗せたりと自分の子育てでできなかったことに時間を惜しまず使っています。今は、私が子どもたちにしてやれなかった子育て、いや孫育て真っ最中ということでしょうか。

手作りおもちゃの紹介

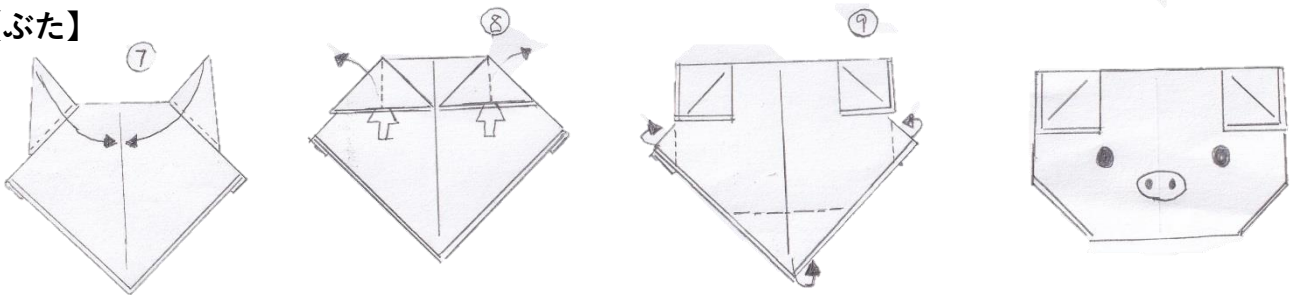
折り紙で指人形

【ねこ】

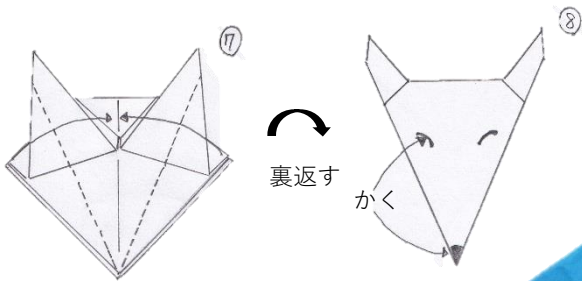


「ねこ」の折り方を基本にし、少しずつ折り方を変えただけで、いろいろな動物が作れます。それぞれ顔を表情豊かに書いて、仕上げてください。

【ぶた】



【きつね】



指にはめる体は、指の太さに合わせて筒を作りましょう。



手作りごはんの紹介

おひなさまいなり

油揚げの衣にかまぼこの扇。うずら卵の顔が色白のかれんなおひなさま。



材 料(3人分)

油揚げ・・・6枚	うずら卵・・・6個
水・・・100ml	ご飯・・・350g
砂糖・・・大さじ2	酢・・・大さじ4
みりん・・・大さじ1/2	B 砂糖・・・大さじ3
醤油・・・大さじ2	塩・・・小さじ1/2
三つ葉・・・6本	

かまぼこ・黒ごま・のり

作り方



- 1.まな板に油揚げを1枚ずつのせて、菜箸を押さえつけるように転がし、一边を切って中を開き、袋状にする。熱湯で1分ほど茹でて油を抜き、水気をきる。
- 2.鍋に[A]を入れて、砂糖が溶けたら1を加える。落しふたをして、ほとんど汁気がなくなるまで煮て火をとめ、さます。
- 3.温かいご飯に[B]を回しかける。しゃもじで切るように混ぜ合わせ、うちわなどであおいでさます。
- 4.三つ葉はさっと茹で、うずら卵は茹でて殻をむく。
- 5.油揚げに3を詰め、三つ葉で結び、うずら卵をのせる。



ひな祭り



3月3日のひな祭りは、女の子が病気をせず元気に過ごせるようおひな様を飾ったり、ひなあられ、ちらし寿司やハマグリのお吸い物を食べたりして、みんなで健康を願います。ひなあられには春夏秋冬の四季を表す色が付いていて、1年間健康に過ごせるようにという意味があります。おうちで食べるとき、じっくり観察しながら食べてみてください。



絵本の紹介



著：accototo
著：ふくだとしお
著：ふくだあきこ
出版社：幻冬舎

うしろにいるのだあれ

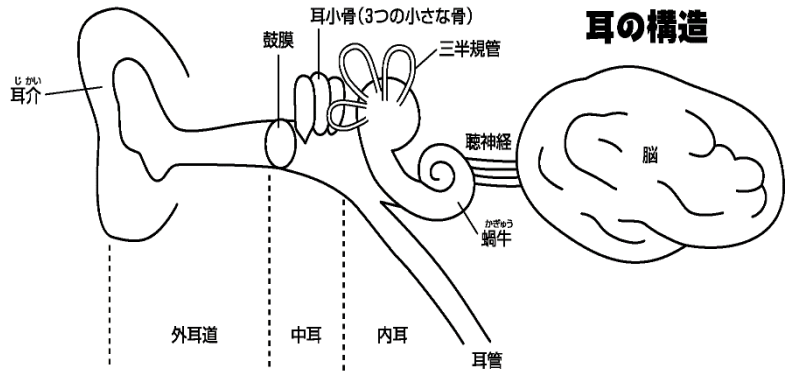
いぬ、かめ、ねこ、ぞう……。子どもたちに人気の動物を通して「誰もが見守られている」というメッセージを伝える、愛子さまお気に入りとして紹介され大きな話題となったベストセラー絵本。



耳の日

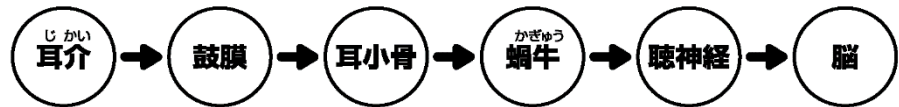
3月3日は「耳の日」です。

耳は音を聞くだけでなく、体のバランスを取ったり、気圧の変化を調整したりするなど、大切な働きがたくさんあります。耳のそばで大声を出さない、ふざけて耳の穴に物を入れたりしない、耳をたたかない、鼻をかむときは鼻を片方ずつ押さえる、など耳に負担をかけないように気をつけましょう。



音の伝わり方

※どの部分に異常があっても、聞こえ方に障害が出ます。



いろいろな動物の耳の形を調べたり、自分の耳に興味を持ったりして、楽しんでみましょう。

【クイズ】 はなのなまえをせんでつなごう



●ちゅーりっぷ

●たんぽぽ

●つくし

●なのはな

●さくら

～スタッフより～

令和2年度も3月で終了となります。通信を令和2年9月より毎月発行してきましたが、見ていただけましたでしょうか。

コロナ禍でも子どもたちはすくすく育ち入園の時期を迎える方もいると思います。ともに喜びあえないのは残念ですが、新しい社会生活へ元気に進んでいってほしいと節に願っています。

令和3年度のにこにこワークショップの開催を検討中ですが、実施についての詳細はホームページ等で確認していただきますようお願いいたします。またお会いできるのを楽しみにしています。

子育てメール相談

メールで子育て相談を実施しています。しつけ、遊び、ことば、発達など子育てに悩んだときや困ったときは、お気軽にご相談ください。メールの回答までには1～2週間程度お時間がかかる場合もあります。ご了承ください。

ご相談フォーム →



<https://bit.ly/2FMJEct>



← HP



← Twitter